

カテーテルの太さが FFR の測定値に与える影響の検証

【はじめに】2012 年の診療報酬改定により CAG 時の FFR 施行件数が増加し、細い径のカテーテルで FFR が行なわれることが増えてきている。理論上カテーテルの太さが FFR の測定値に与える影響はないと言われているが、今回シミュレーションによる検証をしたので報告する。【方法】模擬血管径 3mm、平均圧 80mmHg と 100mmHg の冠動脈狭窄モデル(水温 37.0 度)を作製し、プレッシャーワイヤーは St. Jude Medical (以下 SJM) 社製サルタス、アナライザーは SJM 社製ラディアアナライザを使用した。カテーテルは Technowood 社製の 4Fr~7Fr JR4.0 を使用し、狭窄モデル手前でイコライズを行い、イコライズ位置より 15cm ワイヤーを進め、狭窄部位を越えた位置で測定・比較した。【結果】表で示す。【結語】今回の実験では、FFR の測定値はカテーテルの太さによる違いがなかった。これにより、临床上 4Fr 以上のカテーテルの使用では FFR の測定値に影響がないと示唆される。

平均圧(mmHg)	7Fr JR4.0	6Fr JR4.0	5Fr JR4.0	4Fr JR4.0
80	0.76	0.76	0.74	0.75
100	0.75	0.75	0.74	0.74